

天塩川河川整備計画原案についての開発局への会談再申し入れ

私たちは、天塩川河川整備計画原案について明らかにされていない点多々あると考えて、1月25日、開発局に文書によって会談を申し入れましたところ、1月29日、井田治水課長から電話でお返事いただきました。その内容は、1) 特定団体とは会わない、2) 寄せられた意見に対しては、説明責任を果たす必要があるのもそのうちまとめて考えを述べる、の2点でした。1点目について、新聞で、名寄市・名寄市内町内会・ダム建設推進派の住民団体の三者が旭川開発建設部次長と会ってダムの早期着工を要望したと報道された点について質したところ、自治体とはいろんなことで連携しているので、会ったという回答でした。しかし、今回の問題は自治体との連携の問題ではなく、明らかにダム建設要望の問題です。賛成派とは会って、反対もしくは疑問派とは会わないということは、住民に対する差別であり、民主主義と相容れないと考えます。私たちは、具体的問題として、「1998年のアンケートではダムを必要としないという回答が多かったのに、なぜダム推進となったのか」とか、「戦後最大の水害に対応するという立場なのに、なぜ真勲別の目標流量だけ高く設定しているのか」という地域住民からの疑問に対する回答をお願いしました。これらの疑問に答えないまま整備計画案を作成することはできないと考えています。出された疑問に対して説明責任を果たすとおっしゃっていますが、説明責任を果たすということは、勝手に説明すればいいというものではありません。相手に理解してもらえるような合理的な説明を行なうことが含まれているはずです。今までの経過を見ると、開発局は一方的に説明をされていますが、納得できない回答が多々ありました。やはり、会談によってやりとりしなければ、説明責任は果たせないと考えます。

そこで、今一度私たちとの会談を申し入れます。もし、回答が1月29日と同じであれば、私たちの見解について記者会見を開いて述べさせていただきます。また、国土交通省などの上位の機関などへも要請していくつもりです。早急なご回答をお願い致します。

1月31日

サンルダム建設を考える集い
下川自然を考える会
名寄サンルダムを考える会
北海道の森と川を語る会
大雪と石狩の自然を守る会
旭川・森と川ネット21
環境ネットワーク旭川・地球村
遊楽部川の自然を守る会

北海道自然文化ネットワーク
サンル川を守る会
北海道自然保護連合
市民森づくりクラブ
社団法人 北海道スポーツフィッシング協会
社団法人 北海道自然保護協会